



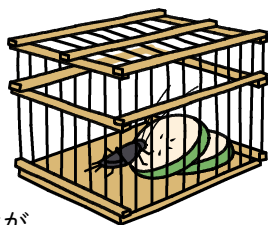
庭草に 村雨降りて こほろぎの 鳴く声聞けば 秋づきにけり

9月の万葉集 巻10-2160 詠み人知らず
(庭の草に、村雨(むらさめ)が降って、こほろぎの鳴く声を聞くと、秋の訪れを感じます。)

すべての学校でコミュニティスクールを進めています！

24節気の15番目である白露から1週間が過ぎ、昼間はまだまだ暑いものの朝夕は気温も下がり、過ごしやすくなってきました。特に夜には、マツムシやコオロギなどの虫の鳴き声が耳に心地よく、秋の到来を感じる頃となりました。

新型コロナウイルス感染症も第5波に入るとともに拡大し、お盆から8月末



にかけて、全国で2万人を超える感染者が出ていました。特に、感染力の強いデルタ株の影響で、20代30代の若者が多く、10代の児童生徒の感染も広がりを見せました。その状況に呼応して奈良県でも200人を超えた日もあり、また広陵町においても10人を超えた日もありましたが、現在は減少傾向にあるように思います。

町内の学校・園では、これまで以上に、3密回避、マスク着用や手洗い、ドアノブ・手すり・スイッチの消毒等、徹底した感染予防対策を実施した上で、予定通り8月25日に2学期の始業式を迎えました。30日からは給食も提供し、配膳時の消毒、全員が前に向いての黙食等、もっとも感染リスクの高い給食時の対策も充分に行い、その他授業を中心とした様々な学校教育活動を進めています。とにかく、本町では、学校・園における徹底した感染防止対策と先生方の子どもたちへの指導と管理によって、絶対、子どもたちには感染させない思いで対応をしてもらっています。

さて、今年度から、すべての小中学校で「コミュニティスクール(学校運営協議会)」を導入しました。コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律(地教行法第47条の5)に基づいた仕組みです。

令和元年度に真美ヶ丘第一小学校をモデル校として発足し、令和2年度には、東小学校、北小学校、真美ヶ丘第二小学校、真美ヶ丘中学校が、そして今年度から西小学校、広陵中学校が参加し、町内すべての学校に導入となりました。



各学校では、登下校の見守り等を担ってもらう「学校安全部」、花壇整備や除草作業等、学校環境づくりを担ってもらう「環境整備部」、生活科・家庭科・図画工作科などの授業への支援、クラブ活動(卓球・テニス・パソコン等)への支援等を担ってもらう「学習支援部」を組織して、各学校の活動や課題に対して広く保護者や地域の皆様に参画していただき、熟議を重ねる中で、「地域とともにある学校づくり」を進めています。

このたよりを読まれている皆さんの中で、地域の子どもたちのために何か協力・支援してあげようと思われる方がおられましたら、どうか校区の学校に連絡していただき、「子どもたちのためにコミュニティスクールに協力するよ」と伝えていただければ幸甚に存じます。何とぞよろしくお願ひいたします。

教育委員会の取組

西小学校増築校舎棟の内覧会を実施しました！

8月25日(水)、2学期の始業式があった午後から、校舎の増築が行われた西小学校で、山村町長をはじめ、松井副町長、町議会議員の皆様、富山校長、中尾教頭、工事関係者の皆様の参加の下、増築された1階の特別教室内で内覧会を実施しました。



はじめに、町長のあいさつでは、子どもたちにとって、学校は安心安全で楽しく学ぶ場であるということや児童の急激な増加に伴い普通教室等が不足する状況から増築に至った経緯などについて話していただきました。続いて、事務局から、校舎棟増築、給食室増改築、体育倉庫新築についての工事概要と併せて衛生面で給食室の見学ができないことから、平面図と写真を基に説明していただきました。

その後、施設見学として、3階、2階の普通教室を見ていただきました。教室の床や壁、廊下の壁には奈良県産材の木がふんだんに使われていて、参加された多くの方から、木の温もりが感じられ、心が和むと好評でした。

机やイス、教卓などの備品はこれからの整備となりますが、子どもたちにはできるだけ早く使ってほしいと感じました。 **裏面へ**

広陵放課後塾で楽しく学習しています！

9月1日(水)から、町内すべての小学校で3年生を対象に広陵放課後塾を開講しました。

この取組は、学力向上推進支援事業の一環として、宿題を基本に基礎学力の定着や児童の学習意欲の向上を図り、家庭学習の支援を目的としています。

一昨年に東小学校をモデル校としてスタートし、昨年に北小学校と真美ヶ丘第一小学校にも拡大して開講する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大で開講できず、それに替わるものとして、町内すべての小学3年生を対象として、9月から土曜塾を役場3階で実施しました。ただ、3密を避けるために、定員は50名とし、2つのグループに分け、土曜日の隔週で9月から3月までの実施でした。

今年度は、すべての小学校3年生を対象に5月より募集を開始し、子どもたちを教えていただける指導員の確保も含めて、しっかりと計画・準備した上で、全員で83名の参加のとなり、9月からの開講となりました。

それぞれの学校では、毎週水曜日の授業が終わってからの1時間の予定で、9月1日から3月9日までの23回の計画で塾を実施します。これまで、2回実施しましたが、どの学校の子どもたちも熱心に宿題やワークブックに取り組み、楽しく個々の課題に取り組み、分からないことは積極的に指導員の先生方に質問していました。子どもたちには、この塾を経験することで学習意欲や積極性が向上し、少しでも一人一人の学力向上につながればと思っています。



学校から



真美ヶ丘第一小学校より

学校長から

新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底！



図書室利用の様子です。子どもたちも感染症対策はじゅうぶんに心がけており、入室のときも退室のときもこういう形でアルコールによる手指消毒をしています。

東小学校より

『校内作品展』

夏休みに子どもたちが作った木工作品とアイデア貯金箱を図工室に展示して、校内作品展を開催しました(8月30日~9月1日)。子どもたちは、学級ごとに時間を決めて、作品の鑑賞を行いました。子どもたちは「細かいところまで丁寧に作られていてすごいなあ。」「色使いがきれい。」など、それぞれの作品の良いところを見つけました。また、Chromebookで作品の写真を撮り、ロイロノートを活用して感想をまとめ、それぞれの感想の交流をした学級もありました。



北小学校より

救急の日に保健指導

9月9日の救急の日に併せて、3年1組で「自分でできるけがの手当を考えよう」というタイトルで保健指導が行われました。



授業者は、今年度、新規採用された養護教諭の原田先生で、Chromebookを使って、けがの種類(擦り傷、切り傷、鼻血、打撲、突き指、目の異物)に応じた適切な方法を(血を止める、水で洗う、冷やす)考え、どのけがにはどの

手当があっているのかを判断する内容で、子どもたちは先生のテンポのいいメリハリのある授業に集中し、目を輝かせていました。

西小学校より

楽しい給食が始まる！

8月末に給食室の工事が終了し、2学期から自校調理方式の給食を再開しました。その初日、石鹸でしっかりと手を洗った後、列に並ぶ子どもたちの顔は食べる楽しみでいっぱいでした。できたて・あつあつの「なつやさいカレー」はどの学年でも大好評で、私たちもひと安心です。



真美ヶ丘中学校より

「食育講演会」

8月26日(木)に1年生で食育講演会を実施しました。1限目は3,4組が、2限目は1,2組が体育館に入り、学校栄養職員の金田綾乃先生から、食育についての話を聴きました。給食は中学生が摂取すべき栄養面を考えて提供されるバランスの取れたメニューになっているのですが、残念ながら残食量が多いということです。一人一人ができる範囲で残食を減らす努力をしてもらいたいと思います。

